

神無月を迎えて

分所長 高木 敏彦

十月の声を聴き、暑かった夏から気候の爽やかな秋を迎えることができました。八月にはコロナ感染者数が過去最高を記録していましたが、最近になりようやく減少傾向になってきました。このまま減少を続けていくことをお祈りしています。

さて、今月の三河本苑大祭の準備に沢山の人がご奉仕していますが、教主様のご面会には参拝者全員でのご面会が予定されています。名前を司会者が読み上げますので呼ばれたらその場で起立してマスクを取りお顔を向けて頂くようお願いいたします。小学生と八〇歳以上の人には教主様よりプレゼントの品を頂けるとなっています。楽しみにして沢山の信徒の皆様と一緒に祝いさせて頂きたいと思いません。

碧南分所だより

東北日記 八の巻

出口 王仁三郎

神典や宗教や言霊学の方面から考えて見ると、古代日本の思想や文化の程度は、その時代時代における世界の文化よりは非常に早く進んでいたものである。そしてまた種々の思想や宗教や文化が移入されているが、世界の宗主国といわれるだけあって、すべての物を抱擁してこれをよく消火し日本化し、攻伐征戦の厄を見ずして行われたことは世界の歴史にいままでかつて類例のなき事実である。しかも外来

の思想や宗教や文化が全然淘汰訂正されて日本思想となり日本文化となつて完全に発達を遂げ、今やまさに世界思想を指導しつつある大本運動となつて現れたのである。そればかりでなく、美術や文芸史の語るところにおいても、さらに近代文明思想の根基となつている科学思想をたどつても、古代の日本には既に西欧文化を凌駕するところの科学をもつていたことは、神典古事記の明文に拠るも明らかな事実である。現代文明国の進歩に比し数万年の昔において既に超越していた。これを立証するには我が国の歴史にはあまり多きに苦しむほどの証拠があるのである。

かくのごとく見來るときは、我が国は実に神秘莊嚴なる天立神国であることが分かる。石器時代から昭和の今日に至るまで、一つの民族として惟神的に国是を創建し、国家建設第一日の日の高御座を現代までそのままに捧持して、国家の元首は現津御神として一刻たりとも岩戸籠りを遊ばされたことのない神秘莊嚴の国体である。

すなわち我々の奉侍する天皇は天照大御神そのままの神におわしまし、主帥親の三徳を具わしたまい、無始無終の高御座におらせらるるのである。

かかる有り難き恩沢に浴しておる万邦無比の国民は一国一氏一族であつて、全国主従師弟親子のままに朝日の豊榮昇りとともに、弥栄えに榮え、何ら衰頹の事実なく、剛健質実、地球の極から極まで發展して、窮まりない現津御神の国を建て広げつつあるのである。

このような神秘が何国の歴史に在ろうか、か

くのごとき莊嚴が何国のどこにあるだろうか、かくのごと剛健な民族が地球のどこに在つたのであるうかと吾人は三十年前より誇つて来たのであるが、わずかに歳月を経たる今日の日本の国状を深夜密かに思うとき、涙の滂沱としてし辺に伝つこと度々である。

主な行事予定

十月九日(日) 午後一時半より

碧南分所月次祭 担当第一班

十月一六日(日) 午前一〇時より

三河本苑秋季大祭

十月一八日(火)午後七時開始

靈界物語全国一斉拝読会

十一月六日(日)

開祖大祭

十一月一三日(日) 午前一〇時半より

碧南分所秋季大祭・祖霊合同慰霊祭

参拝時には「マイボトル」「マイ箸」「マイ祝詞」を持参しましょう！

十月の誕生者

おめでとつございませう！

澤田 多鶴子 二日 坂部 影紀 四日 鈴木
勝一郎 五日 岡本 眞 一四日 澤田 鼓太
呂 一九日 生田 あき子 榊原 武彦 二〇
日 天内 緋佳里 二二日 栗津 誠 二四日